

V 施工(20. 設備工事) ①重要事項の解説

「20. 設備工事」で2回以上繰り返し出題のある重要項目(H8～H27)は、下記の通りである。

(1) エレベーター設置設備

※過去に選択肢問題として4回出題有

- ・エレベーター乗降ロビーに設ける連結送水管の放水口への配管を、エレベーターシャフト内に設けてはならない。
- ・エレベーターに必要な配管設備を、エレベーターシャフト内に設けた。
- ・非常用エレベーターの乗降ロビーに、連結送水管の放水口を設けた。

(2) 排水管の最小勾配

※過去に選択肢問題として4回出題有

- ・屋内の横走り排水管の最小勾配は、管径が100mmが1/200、125mmが1/150、150mmが1/100とした。

(3) 区画貫通の風道

※過去に選択肢問題として3回出題有

- ・防火区画の壁を貫通する風道において、防火ダンパーを設けたので、当該防火ダンパーと当該防火区画との間の風道は、厚さ1.6mmの鉄板でつくられたものとした。

(4) 消防用水

※過去に選択肢問題として3回出題有

- ・消防用水の設置場所は、消防ポンプ自動車が2m以内に接近できる位置とした。

(5) 区画貫通の配管

※過去に選択肢問題として2回出題有

- ・防火区画の壁を貫通する給水管は、75mmの硬質塩化ビニル管とし、周囲のすき間をモルタルで埋めた。

(6) トラップの封水深

※過去に選択肢問題として2回出題有

- ・排水トラップの封水深は、7cmとした。

(7) ガス漏れ警報器

※過去に選択肢問題として2回出題有

- ・空気に対する比重が1より小さいガス用のガス漏れ警報器は、その下端の位置を、天井面から下方300mmとした。
- ・都市ガス用のガス漏れ警報設備の検知器は、ガスレンジの直上の天井面に設けてはならない。

(8) 連結時の排水トラップ

※過去に選択肢問題として2回出題有

- ・雨水排水管(雨水排水立て管を除く。)を汚水排水のための配管に連結する部分には、排水トラップを設けた。

(9) 配管の共吊り禁止

※過去に選択肢問題として2回出題有

- ・横走管の支持・固定において、排水管は、給水管から吊る共吊りとしてはならない。

(10) 排気口の階段離隔

※過去に選択肢問題として2回出題有

- ・換気用ダクトの排気口については、屋外避難階段から2m離して設けた。